



## 1年間の歩みを振り返り、仲間へ伝えよう「ありがとう！」

南帷子小学校長 竹内 久美子

5月末発行の校報「みなかた」で、児童会スローガンについて紹介しました。あれから、「笑顔の種」は、どうなったのでしょうか。現在は、根が出て茎が伸び、葉がいっぱいついています。この葉は、各学級でつくった宝物やあいさつキャンペーンの成果などにより茂ったものです。

運営委員長に、「今年度もあと1か月になったけれど、この後、どうなるの？」と尋ねてみると、「花が咲きますよ！もう、花は、運営委員のみんなで作ってあるんです。あとは、貼るだけです。花を貼る機会をいつにしようか、考えているところです。」という返事が返ってきました。

自分たちで考え、判断し、仲間のために活動できる素敵な子どもたちがいっぱいです。新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動できることも制限されていますが、感染対策に配慮しながら、スローガンの「笑顔の花」を咲かせようと、頑張ってくれています。

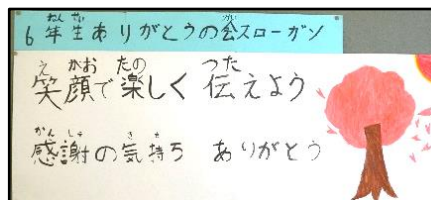
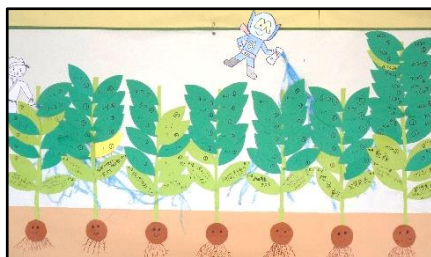
- ・運営委員会や生活委員会のあいさつ運動のおかげで、元気なあいさつが増えました。
- ・健康委員会は、手洗いや外で元気に遊ぶことをみんなに働きかけてくれています。まん延防止期間が解除されたら、全校遊びをしたいと計画しています。
- ・整美委員会は、給食の食器の美しい片付けや「もくもく掃除」の呼びかけをしてくれています。掃除の時間、職員室前の廊下は、誰もいないかと思うぐらいの静けさです。
- ・図書委員会は、2月に図書館祭りを行いました。300枚以上のしおりをつくり、いろんな本を読んでもらえるように取り組みました。
- ・生活委員会は、「いつでも どこでも 右側歩行キャンペーン」を行っています。一人一人が気を付けることで、全校のみんなの安全が保たれています。

高学年だけでなく、どの学年も、1年間の成長を感じる姿がたくさん生まれています。中でも、仲間のために働く姿、仲間と協力する姿がいっぱいです。4月に入学した1年生も立派になりました。みんなで声をかけ合って、新入生のお手本となる2年生になろうと頑張っています。

5年生は、「6年生ありがとうの会」に向けて、1～4年生をリードしています。どのようにしたら6年生に感謝の気持ちを伝えられるかを考え、どの学年も精一杯準備を進めています。当日が、とても楽しみです。

学級で、学年で、全校で、一人一人が大切な存在として位置付けています。本年度も、あと1か月となりました。仲間と力を合わせることや仲間に貢献できることの喜びを感じて欲しいと思います。そして、「あなたがいたから、仲間の笑顔が生まれているのだよ！」と、どの子にも伝えてあげたいと思います。

笑顔の種を育てよう  
～仲間になんときでも  
あいさつ・思いやり～



昼休み「6年生ありがとうの会」の準備を進める5年生の子どもたち